

福島県内の公共建築物における 木材利用事例集



福島県林業振興課

公共建築物における木材利用の推進について

福島県林業振興課

1 はじめに

国や地方公共団体が整備する公共建築物は、戦後しばらくの間、建物の不燃化やひっ迫した木材の消費を抑制する観点から、非木造化が進められ、その多くが鉄筋コンクリート造や鉄骨造により建設されてきました。

その後、森林資源が充実し、本格的な利用期を迎える中で、木造建築物の不燃化等に関する技術開発の進展に伴い、建築基準法が順次改正され、木造建築物に対する規制が徐々に緩和されたことにより、これまで木材の活用の機会が少なかった中大規模建築物においても活用の幅が広がっています。

このような中、木造率が低く、潜在的な需要が期待できる公共建築物において、国や地方公共団体が率先して木材利用に取り組むことが重要との考えから、平成 22 年に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」（以下「公共建築物等木材利用促進法」という。）が制定され、全国各地で木材を積極的に活用する取組が行われております。

2 公共建築物等木材利用促進法に基づく方針の策定

国は、公共建築物等木材利用促進法に基づき策定した基本方針の中で、国が整備する3階建て以下の低層建築物については、原則として全て木造化を図ることを目標に掲げ、国自らが取り組んでいくという姿勢を明確に示しました。

本県においても、国の基本方針に即して、平成 23 年 7 月に「ふくしま県産材利用推進方針」を策定し、県産材の活用による公共建築物の木造化・木質化を推進しているところです。

また、市町村においても、県内 59 市町村の 88%に当たる 52 市町村において、県方針に則した市町村方針が策定され（平成 29 年 8 月末現在）、地域の木材を活用する動きが活発化しています。

3 公共建築物の木材利用への支援

公共建築物等木材利用促進法では、国や地方公共団体以外の者が整備する学校、社会福祉施設、病院及び公共交通機関の施設等についても「公共建築物」に位置付け、民間事業者等へ木材利用の促進を幅広く呼びかけて理解と協力を得るよう規定されております。

県では、県が整備する建築物での木材利用に努めているほか、市町村や民間事業者に対し、木材利用のモデルとなる公共建築物の建設を支援しており、平成 28 年度までに県内 32 施設の木造化・木質化が図られました。この中には、県内企業によって開発された木材利用・建築技術を活用した先進的な事例もあり、今後の利用拡大に向けた取組が進められています。

公共建築物における木材利用の拡大は、公共需要を生み出すという直接的効果はもとより、民間建築物への波及効果が期待できることから、今後も、各種補助事業を活用した支援を継続するとともに、木造建築事例集の作成や支援制度の情報発信等を通じて、普及促進に取り組んでまいります。

（平成 29 年 9 月）

もくじ

【県北農林事務所管内】

桑折町立醸芳幼稚園増築園舎（桑折町）	1
国見町庁舎（国見町）	2
道の駅国見あつかしの郷（国見町）	3
国見町文化財センター「あつかし歴史館」（国見町）	4

【県中農林事務所管内】

郡山ヘアメイクカレッジ（郡山市）	5
郡山市立希望ヶ丘学園（郡山市）	6
三進煙石コミュニティセンター緑正館（平田村）	7

【県南農林事務所管内】

聖ヶ岩ふるさとの森交流館（白河市）	8
矢吹中学校武道場（矢吹町）	9
矢祭小学校校舎（矢祭町）	10

【会津農林事務所管内】

西会津町こゆりこども園（西会津町）	11
磐梯幼稚園（遊戯室）（磐梯町）	12
情報コーナー（道の駅猪苗代内）（猪苗代町）	13
会津坂下町立坂下南幼稚園（会津坂下町）	14
八幡コミュニティセンター（会津坂下町）	15

【南会津農林事務所管内】

ほしっぱの家（南会津町）	16
南会津町立伊南保育所（南会津町）	17
南会津町役場庁舎（南会津町）	18

【相双農林事務所管内】

磯部水産加工施設（相馬市）	19
南相馬市大町地域交流センター（南相馬市）	20
飯舘村交流センター「ふれ愛館」（飯舘村）	21

【いわき農林事務所管内】

大倉保育園（いわき市）	22
折戸集会所（いわき市）	23
認定こども園なこそ幼稚園（いわき市）	24

桑折町立醸芳幼稚園増築園舎（桑折町）

所在地	桑折町桑島三11-24	延床面積	1,115.72m ²
事業主体	桑折町	木材使用量	268m ³ (0.24m ³ /m ²)
竣工年月	平成29年2月	(うち県産材)	268m ³ (0.24m ³ /m ²)
階数	地上1階	事業費	388百万円
構造	木造一部鉄骨造り	(うち補助金)	96百万円



県産木材を室内外に現しで使用し、園舎全体であたたかみのある空間を実現した。



木造を選択した経緯

少子化に伴う園児数の減少に対応するため、町内にある4つの幼稚園を統合するに当たり、園舎の増築を計画。

町では、子供たちの健康や安全面に配慮するとともに、木材利用方針に基づき、施設の開かれた利用を通じて県産材利用を推進するため、木材を基調とした園舎の建設を決定。



工夫した点

一般の住宅と同様の在来工法を採用しており、県産材をふんだんに使用した梁や柱が特徴。

また、集成材の梁を利用することで、大空間の遊戯室も実現している。



利用者の評判・感想について

開園に先立ち行われた「園舎見学会」では、内外装ともに県産材をふんだんに使用し、自然採光や通風を積極的に取り入れた開放感あふれる園舎であることや、安全・安心に配慮した施設で幼児教育が進められることに対し、保護者や町民の方から高い評価をいただいた。

また、園児たちも、無垢材の香りやぬくもりに安心しながら、広々とした園舎で、毎日のびのびとげんきに仲良く活動している。

国見町庁舎（国見町）

所在地	国見町大字藤田字一丁田二 1 番 7	延床面積	4,825m ²
事業主体	国見町	木材使用量	290m ³ (0.06m ³ /m ²)
竣工年月	平成27年3月	(うち県産材)	145m ³ (0.03m ³ /m ²)
階数	地上3階 地下1階	事業費	2,468百万円
構造	S造 (集成材耐火被覆)	(うち補助金)	55百万円

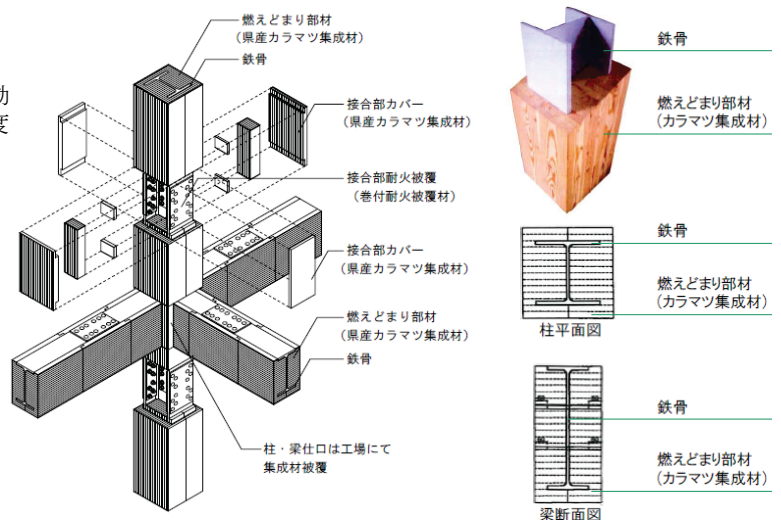


鉄骨の躯体を県産材のカラマツで耐火被覆することで、鉄骨造の耐火建築物でありながら、木の架構に包まれた温かみのある空間を実現。

大臣認定を受けたH型鋼の木質ハイブリッド鋼材内蔵型集成材を「柱」と「梁」に採用した建築は、公共建築物としては日本初の事例。

柱と梁の断面構造

H型鋼等の鋼材に集成材の耐火被覆を行うことにより、火災時において集成材部分に炭化層が形成され、断熱効果によって炭化進行を遅延させるとともに、鋼材の温度上昇を抑制。（1時間耐火国土交通大臣認定）

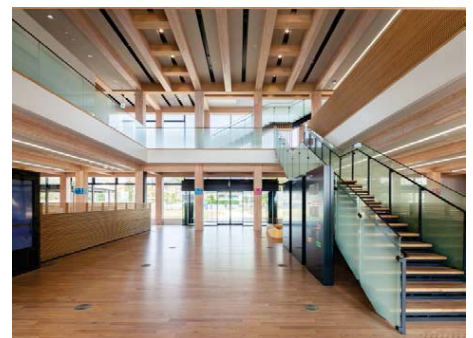


内外装材に県産材を活用

議場は、不燃処理したスギの横格子により木質化。

家具には圧密加工した国見町産のスギ材を活用。

床材は、県産スギを圧密加工したフローリングを使用。



受賞歴

第19回木材活用コンクール 最優秀賞 (国土交通大臣賞)

平成27年度全建賞 (建築部門 (東日本大震災に係る復旧・復興事業特別枠))

平成28年度木材利用優良施設表彰 林野庁長官賞

ウッドデザイン賞2015 (ハートフルデザイン部門)

第29回日経ニューオフィス賞 東北ニューオフィス奨励賞

[主催：日本木材青壮年団体連合会]

[主催：一般社団法人全日本建設技術協会]

[主催：木材利用推進中央協議会]

[主催：ウッドデザイン賞運営事務局]

[主催：日本経済新聞社、一般社団法人ニューオフィス推進協会]

道の駅国見 あつかしの郷（国見町）

所在地	国見町大字藤田字日渡二18-1	延床面積	2,785.81m ²
事業主体	国見町	木材使用量	106m ³ (0.04m ³ /m ²)
竣工年月	平成29年3月	(うち県産材)	67m ³ (0.02m ³ /m ²)
階数	地上一部2階	事業費	1,620百万円
構造	鉄骨造	(うち補助金)	509百万円



概観は、阿津賀志山防塁をモチーフにした波型の屋根が特徴の鉄骨造ではあるが、外壁や軒天、化粧柱などに一部木材を使用している。
施設内部は地元産木材等を使用し、暖かみのある優しい空間を実現した。



地元産木材を活用した経緯

国見町の復興のシンボルとして、町内外の幅広い年齢層の人々との交流の拠点となる施設、観光やまちおこし、子育て世代支援さらには宿泊施設を設け、防災機能も有した多機能施設の整備を計画。
町は、利用する方々に国見の空気感、国見に住む人の心遣いが伝わるような、明るく、温かい、省エネルギーにも配慮した施設とするとともに、町面積の4割を越す森林資源の活用と地場産業の活性化のため、地元産木材を利用した道の駅の建設を決定した。

工夫した点

地元産木材を利用した木製ルーバーが特徴。
また、子育て世代支援施設には、「木育」を推進するため、壁や床だけではなく、木製の遊具を設置している。



利用者の評判・感想について

平成29年5月3日のグランドオープン以降、町内外から約50万人以上の方が訪れているが、「きれいで良い雰囲気。」「木の温もりであふれていてゆっくりできた。」「大人も子どももリフレッシュできてすごくいい。」「木の優しい香りに包まれ、国見を感じることができる。」など利用者の方から高い評価をいただいている。

国見町文化財センター「あつかし歴史館」 (国見町)

所在地	国見町大字大木戸字霞原 3	延床面積	347.72m ²
事業主体	国見町	木材使用量	109m ³ (0.31m ³ /m ²)
竣工年月	平成28年8月 (翌年1月オープン)	(うち県産材)	109m ³ (0.31m ³ /m ²)
階数	(3階 ※改修部分は1階のみ)	事業費	49.3百万円
構造	鉄筋コンクリート	(うち補助金)	1.7百万円

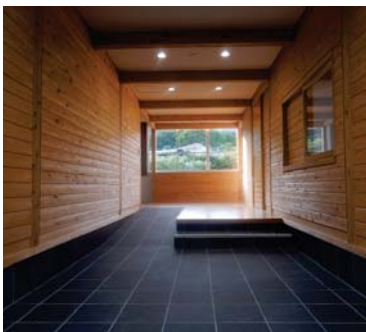


あつかし歴史館の外観(旧大木戸小学校校舎)



展示・ガイダンススペース

平成24年に閉校した小学校の一部を改修した施設。国見町の歴史と文化を継承する文化財センターとして整備。改修範囲の一部内装材として県産材を活用。展示・ガイダンスを行うスペースでは、内装すべてが県産材の杉を用いた空間となる。



玄関



国見町の歴史を伝える展示スペース



小上がりのガイダンススペース



子ども達への民話の語り場として

【木材を活用した経緯】

かつての小学校が地域の拠り所であった様に地域住民が来訪しやすく、町外からの見学者にとっても親しみを感じる施設とするため、あたたかみのある木材を活用した。

【木材を使用するうえでの工夫】

- ・天井をルーバー、壁の一部を有孔ボードとし、様々な活用を可能とする。
- ・ガイダンススペースの窓は雪見障子、机は集成材とした。玄関のタイルやブラインドは木質に合う落ち着いた色調のものを選択。
- ・木材には、より白木の色調に近づけるための塗料を選択して塗布した。

【利用者の評判・感想】

木の香りや温もりに、好意的な意見が多く寄せられる。また、県産材が町内の山林から切り出されたものであることから、親しみを感じる利用者も多い。

展示も含め国見町を凝縮した施設となり、年中行事をテーマとした展示・イベントにも合致した空間となっている。多くの方がまた来たいと感じる施設となりつつある。



地域の高齢者が学び・語り合う場として

郡山ヘアメイクカレッジ（郡山市）

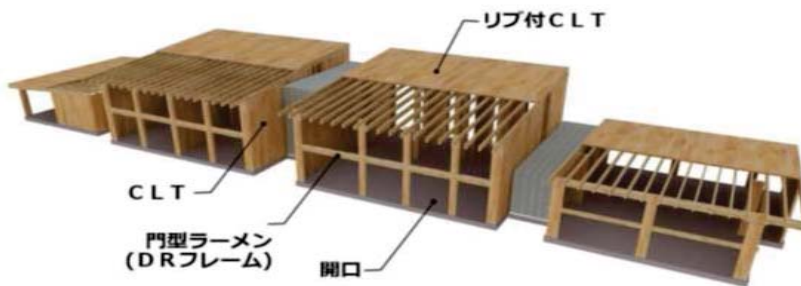
所在地	郡山市安積町笹川3丁目53-1	延床面積	1,430m ²
事業主体	社団法人郡山美容協会	木材使用量	399m ³ (0.28m ³ /m ²)
竣工年月	平成29年3月	(うちCLT)	216m ³ (0.15m ³ /m ²)
階数	地上2階	事業費	606百万円
構造	木造ラーメン構造+CLT壁構造	(うち補助金)	247百万円



CLT壁柱、リブ付CLT屋根パネル、集成材ラーメンフレームを組合わせたハイブリッド構造。建築物の強度向上や耐震性の強化、大空間の実現によってデザイン性が向上。建築工期の短縮、施工性の向上、多様な建築物へも適用可能な工法である。

■ 構造について- 木造による壁式+ ラーメンの複合工法

4つの木造建物と3つの鉄筋コンクリート造(RC造)で構成されています。木造部分は開放性、大空間、限られた施工期間を考慮し開発された木造ラーメン構造とCLT壁構造を組合わせた新工法で建設されます。また、RC造の耐火建築物で区画する事で内部は木構造の現し仕上げを可能にしています。



■ サロン風実習室-第1実習室-

大きな開口部と木をふんだんに使って、実際のサロンを意識した実習室をデザインしています。JR東北本線を使い通学する高校生を意識した場所に配置することで建物自身が広告になるようにしています。



■ オープン教室-第1教室-第2実習室-

近隣住民への開放を考え東端に配置をし、動線が完結するよう工夫しています。また、可動間仕切りにより、4.5㎡と107.7㎡の教室を190㎡程度の大きな空間としても利用できるようにしています。また、照明デザインを行い夕方から夜の見え方も考慮しています。

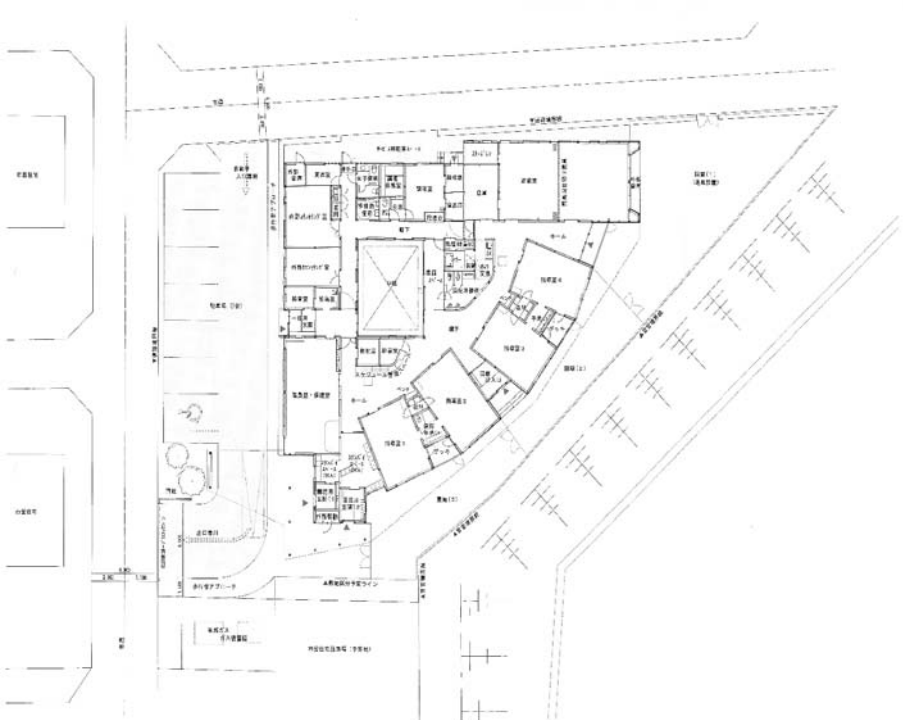


郡山市立希望ヶ丘学園（郡山市）

所在地	郡山市希望ヶ丘27-1	延床面積	630m ²
事業主体	郡山市	木材使用量	95.33m ³ (0.15m ³ /m ²)
竣工年月	平成26年3月	(うち県産材)	95.33m ³ (0.15m ³ /m ²)
階数	地上1階	事業費	139百万円
構造	木造	(うち補助金)	5百万円



老朽化にともない、地元の県産材を建物内外に利用し建替えた。障がい児に木のぬくもりを感じてもらい、積極的な療育指導につなげることも含めて施設整備をした。



障がい児通所支援事業所として、施設内での木のぬくもりや木本来の香りにより、心身ともにリラックス効果を得ることができる。また、新たな相談支援事業の運営により、児童とその保護者も利用するため、様々な利用者に対しても積極的な効果が期待され、地域に根差した児童発達支援センターとなっている。

三進煙石コミュニティセンター緑正館（平田村）

所在地	平田村大字西山字煙石101	延床面積	1,870m ²
事業主体	三進金属工業株式会社	木材使用量	473m ³ (0.25m ³ /m ²)
竣工年月	平成27年3月	(うち県産材)	454m ³ (0.24m ³ /m ²)
階数	地上1階	事業費	431百万円
構造	木造(大断面集成材)平屋建て	(うち補助金)	199百万円



当センターは、三進金属工業株式会社の「シンボルマーク」をモチーフにデザインされ、中央の円（玄関ホール）から三方向に研修室、展示室、食堂が接続されるユニークな構造となっており、開かれた地域のコミュニティセンターとして、地産地消による農産物の郷土料理教室や地元小中学校の音楽会や絵の展覧会など幅広い利用が期待されています。

柱と梁の断面構造

正面玄関を入ると中央ホールの天井に、曲面で仕上げられた大断面集成材の梁や管柱を見ることができます。また、壁材、床材にも木材がふんだんに使用され、色彩的にも落ち着いた空間に仕上がっています。



内外装材に県産材を活用

当コミュニティセンターは、床面積1,870m²の大きさと、構造材は県中管内の木材加工業者が製造する大断面集成材等を使用し、全体で473m³の木材を使用しました。

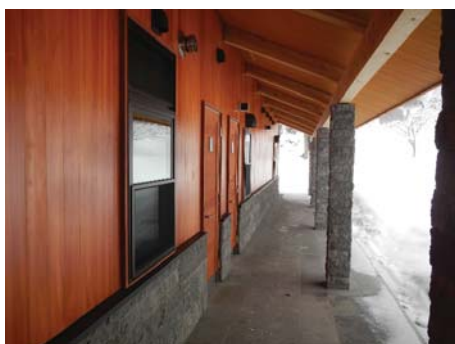


聖ヶ岩ふるさとの森交流館（白河市）

所在地	白河市大信隈戸地内	延床面積	351.06m ²
事業主体	白河市	木材使用量	81.65m ³ (0.23m ³ /m ²)
竣工年月	平成26年12月	(うち県産材)	81.65m ³ (0.23m ³ /m ²)
階数	地上1階	事業費	96百万円
構造	木造平屋建	(うち補助金)	86百万円



白河市最高峰の権太倉山や隈戸川、聖ヶ岩など豊かな自然に囲まれ、キャンプ場、ロッククライミング、遊歩道などがある聖ヶ岩ふるさとの森の中心となるビジターセンターとするため、周囲の自然に溶け込み森林空間のよさを五感で楽しめるよう木材をふんだんに使用した。



【木材の使用箇所や使用するうえでの工夫点】

内部では開放的な空間とするため、勾配天井とし大断面集成材や自然木の大黒柱をあらわしの形にした。

外部には圧密加工した桧板を利用し、耐候性を考慮した。冬季間の閉鎖時期に二階の開放された歩廊部に桧板の雪囲(かこい)を設置し雪の進入を防ぐ工夫をおこなった。



—利用者の感想—

豊かな自然環境に囲まれた中で、木の温もりある開放的な建物で非日常的で貴重な体験ができたとの声が寄せられている。

矢吹中学校武道場（矢吹町）

所在地 矢吹町文京町118-1, 118-6
事業主体 矢吹町
竣工年月 平成24年3月
階数 地上2階
構造 木造

延床面積 587,4m²
木材使用量 130.5m³ (0.22m³/m²)
(うち県産材) 130.5m³ (0.22m³/m²)
事業費 161百万円
(うち補助金) 50百万円



中学校校舎改築と合わせ、武道場改築についても木質化を図ることで施設全体の統一感を演出。
また、明るく温もりのある教育環境を整備することを目的として、木造建築を選択。

【木材利用の工夫】

構造材、内装及び床に県産スギ材等を使用

- 木材を多用
⇒武道を学ぶにふさわしい
伝統的な落ち着いた雰囲気。
- 内装仕上げ材や建具等に使用した木材
⇒素地に近い色を活かし、木の持つ肌触り
や温もりを演出し、柔らかな落ち着いた
空間とした。



—利用者の声—

天井が高く、開放的で明るい。
木の持つ肌触りや感触が良い。

矢祭小学校校舎（矢祭町）

所在地	矢祭町大字東館字下上野内10	延床面積	4,065.91m ²
事業主体	矢祭町	木材使用量	183.6m ³ (0.05m ³ /m ²)
竣工年月	平成28年5月	(うち県産材)	91.2m ³ (0.02m ³ /m ²)
階数	地上2階	事業費	1,319百万円
構造	RC造一部S造	(うち補助金)	425百万円



多目的ホール

小学校校舎には地場産木材がふんだんに使われ、木の醸し出す温もりとともに、降り注ぐ光に満ちた柔らかな学習環境が形成されている。

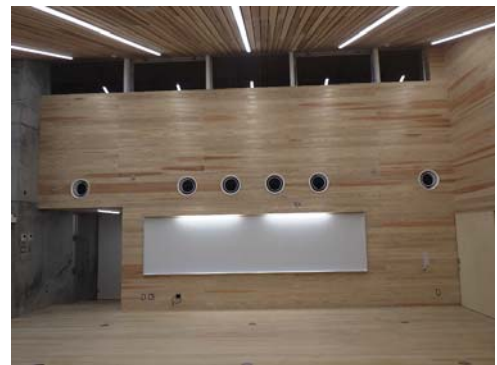
【木材利用の工夫】

構造材、内装に県産スギ材等を使用

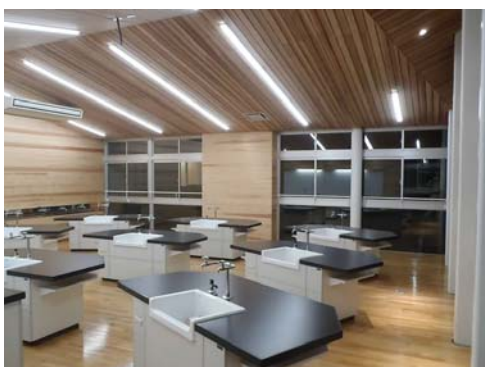
- 木目を活かし、木の持つ肌触りや温もりを演出し、柔らかな落ち着いた空間とした。



教室



音楽室



理科室



メディアセンター

西会津町こゆりこども園（西会津町）

所在地	西会津町尾野本字新森野53	延床面積	1,779m ²
事業主体	西会津町	木材使用量	883m ³ (0.49m ³ /m ²)
竣工年月	平成29年3月	(うち県産材)	883m ³ (0.49m ³ /m ²)
階数	地上1階	事業費	635百万円
構造	木造	(うち補助金)	209百万円



当該施設で使用した木材の一部は町民からの寄付によるものであり、約230m³の西会津産のスギを使用しました。また、保育室の柱には、西会津産のスギ丸太をそのまま使用するなど、木のぬくもりが感じられる施設となっています。



○遊戯室の屋根架構は、トラス構造によるシンボリックな山形の意匠としました。
○各教室に「でん」と呼ぶ小部屋を配置し、多様なコミュニケーションが生まれるよう配慮しました。

写真
左上：遊戯室 右上：廊下
左下：でん

磐梯幼稚園(遊戯室) (磐梯町)

所在地 磐梯町大字磐梯字小原1872

事業主体 磐梯町

竣工年月 平成28年2月

階数 地上1階

構造 木造

延床面積 448m²

木材使用量 118m³ (0.26m³/m²)

(うち県産材) 104m³ (0.23m³/m²)

事業費 224百万円

(うち補助金) 167百万円



当該施設は、地域材を使用することで利用者が木のあたたかさを実感し、快適な利活用ができることを目的に整備しました。また、遊戯室としての利用だけでなく、園児・保護者と地域住民の交流や、社会教育活動等を通じた地域外住民との交流活動の拠点施設としても活用しています。



○遊戯室では、様々なイベントを実施しています。
○設置した木製棚に地域材を活用しています。

写真

左上:遊戯室

右上:イベントの様子(遊戯室)

左下:木製棚

情報コーナー(道の駅猪苗代内) (猪苗代町)

所在地	猪苗代町大字堅田字五百苅 1	延床面積	70 m ²
事業主体	猪苗代町	木材使用量	1.6 m ³ (0.23 m ³ /m ²)
竣工年月	平成28年11月	(うち県産材)	1.6 m ³ (0.23 m ³ /m ²)
階数	地上1階	事業費	240万円
構造	木造	(うち補助金)	120万円



当該施設は国道115号の沿線で、磐越自動車道猪苗代磐梯高原IC及び国道49号に近接しているため、多くの利用客が見込まれます。木材の良さや利用促進を図るため、県産材を使用した施設を整備しました。



○情報コーナー内には、木製のベンチやパンフレット台を設置しています。
○利用者に対して木材の良さを伝えるため、木製の事業PRパネルを設置しました。

写真
左上・右上: 情報コーナーの様子
左下: 事業PRパネル

会津坂下町立 坂下南幼稚園（会津坂下町）

所在地 会津坂下町字石田甲650
 事業主体 会津坂下町
 竣工年月 平成27年12月
 階数 地上1階
 構造 木造

延床面積 1,445m²
 木材使用量 298m³ (0.21m³/m²)
 (うち県産材) 298m³ (0.21m³/m²)
 事業費 418百万円
 (うち補助金) 20百万円



- 園児や保護者に木の温もりを感じてもらい、森林環境に対する意識を高めてもらうため、当該施設の構造材、外装材、内装材に県産材を使用しました。
- 施設内には県産材を利用したPR看板を設置しました。



- 木材の確保を円滑にするため、使用する木材については、建築工事から分離発注を行いました。
- 会津産木材供給連絡会と協議し地元会津産材の利用を図りました。

写真

左上：遊戯室 右上：保育室
 左下：交流スペース

八幡コミュニティセンター（会津坂下町）

所在地	会津坂下町大字塔寺字北原787番地	延床面積	482.24m ²
事業主体	会津坂下町	木材使用量	138m ³ (0.29m ³ /m ²)
竣工年月	平成26年5月	(うち県産材)	112m ³ (0.23m ³ /m ²)
階数	地上1階	事業費	134百万円
構造	木造	(うち補助金)	78百万円



当該施設は、地域づくりを推進するために、地域住民が気軽に立ち寄れ、交流を図る拠点施設として整備しました。また、会津産材を活用し、施設の利用者が木の柔らかなぬくもりを実感しながら快適な利用ができ、周辺地域の歴史ある宿場町の町並み景観に配慮した外観としました。



○地域住民からはコミセンの愛称で親しまれ、各種イベントを実施しています。
○施設内には会津産材を使用したPR看板を設置しました。

写真
左上:ドマとコアガリ
右上:板の間
左下:事業PRパネル

ほしっぱの家（南会津町）

所在地	南会津町針生字宮ノ下1742-2	延床面積	286m ²
事業主体	針生ほしっぱクラブ	木材使用量	158m ³ (0.55m ³ /m ²)
竣工年月	平成26年6月	(うち県産材)	158m ³ (0.55m ³ /m ²)
階数	地上1階	事業費	74百万円
構造	木造平屋建て（縦ログ構法）	(うち補助金)	37百万円



高齢化・過疎化が進む当地区において、地域活性化のため、地元住民や首都圏等から移住した住民が交流・ふれあい・健康を通して安心して共同生活できる住まいの環境を整え、持続可能な地域として新しい職場の実現を目差すと共に、定住又は二地域居住地域としても、魅力ある山村とすることを目的としている。

縦ログ構法



縦ログ構法とは

一定の大きさの木材(ログ)を縦に並べてパネル化し、壁を作る工法。

縦ログ構法は震災復興が発案の原点にあり、次のような利点がある。

- ① 木という単木の材料で供給することができる。
- ② パネル化により、現場での工期を短縮できる。
- ③ 在来に近いオープンな工法であり、誰でも製作に参加することができる。
- ④ 木材のテクスチャーが居住者に与える心理的効果がある。
- ⑤ 地域に放置されているスギを大量に使用できる。

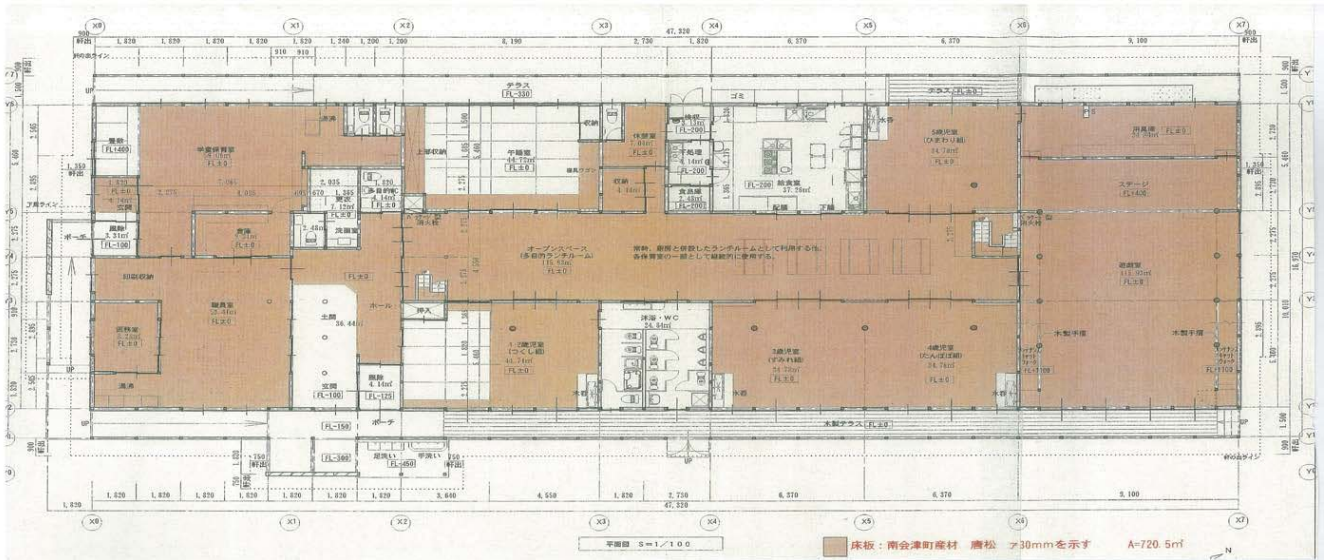
南会津町立伊南保育所（南会津町）

所在地	南会津町古町字千苺157	木材使用量	226.2m ³
事業主体	南会津町	(内 訳)	スギ 204.6m ³ 、カラマツ 21.6m ³
竣工年月	平成27年8月	(うち県産材)	226.2m ³
階数	地上1階	事業費	10.3百万円
構造	木造平屋建て軸組み工法	(うち補助金)	10百万円



南会津町の木材利用方針に基づき町産材を活用した木造とするため、床や外壁を町内の素材生産業者や製材業者と連携して町産材のカラマツ、スギ材を活用した。

地元産材のスギを利用



木材を使用することによって、幼少期より木の暖かさや、やさしさを体感させ、父兄や地域住民にも町産材の利用促進とPRを図ることができ、森林整備の推進や林業・木材産業の振興が図れる。

雪囲い板・スギを利用

南会津町役場庁舎（南会津町）

所在地	南会津町田島字後原甲3531-1	延床面積	1,068m ² （内装木質化分）
事業主体	南会津町	木材使用量	86m ³ （0.08m ³ /m ² ）
竣工年月	平成29年7月	（うち県産材）	86m ³ （0.08m ³ /m ² ）
階数	地上3階	事業費	91百万円
構造	鉄筋コンクリート（内装木質化）	（うち補助金）	39百万円



南会津町役場庁舎外観



光の広間（吹き抜け）

町産材（森林認証材）の活用による地元木材業の活性化と、多くの町民が利用する協働スペース等の内装木質化により、木材の魅力の発信と木材利用を推進する。

使用した樹種は、カラムツ（壁面・天井）、スギ（天井）、クリ（床）、サクラ・トチ・タモ（建具等）

南会津町新役場庁舎内装木質化



光の広間



町長室



南会津町新役場庁舎

- 1 階 光の広間・町民ラウンジには、観光情報、展示作品鑑賞、談話・憩・休憩の場が設置されており、多目的ホールには、住民の会議・集会・講演会・講習会の場が設置されている。
 - 2 階 協働フォーラム、町民ワークスペース及び大ホールが設置されており、各種団体の打合の場、会議集会、活動の拠点等の活動が行われる場が設置されている。
 - 3 階 ラウンジが設置されており、児童生徒等の作品展示の場が設置されている。
- その他 森林環境交付金事業（重点枠・内装木材工事及び木製家具）により、町長室、ラウンジ、中会議室等の床・天井・壁面の木質化及びカウンター、記載台等の設置を行っている。

磯部水産加工施設（相馬市）

所在地	相馬市磯部字大迎1081-1ほか	延床面積	3,590m ²
事業主体	相馬市	木材使用量	292m ³ (0.08m ³ /m ²)
竣工年月	平成28年1月	(うち県産材)	289m ³ (0.08m ³ /m ²)
階数	地上2階	事業費	1,741百万円
構造	木造一部鉄筋コンクリート造	(うち補助金)	1,741百万円



【外観】

外観は、歴史ある相馬市で統一している和風なデザインを採用し、柱梁フレームは県産材カラマツを使用した集成材とし、県内の森林資源の利活用を重視し建築された。3棟のデザインを揃えることにより調和のとれた建物となっている。



【内観】

直売所は、柱梁フレームの木材が現しとなり、木の温もりを感じる吹抜け空間となっている。空間を最大限に活用出来るようにラーメン構造によるグルードインロッド工法の接合で設計された。ダイナミックな柱は安定感を与え、より構造的に優れた建物となっている。

加工場は、内部空間を確保するため、スパンを飛ばしたトラス構造となっており、構造フレームにはカラマツ構造用集成材が使用されている。

南相馬市大町地域交流センター（南相馬市）

所在地 南相馬市原町区大町二丁目110番地
事業主体 南相馬市
竣工年月 平成26年3月
階数 地上1階
構造 木造

延床面積 323m²
木材使用量 57m³ (0.18m³/m²)
(うち県産材) 57m³ (0.18m³/m²)
事業費 166百万円
(うち補助金) 146百万円



建物には県内の森林資源が活用され、外観、内観ともに木の香りや温かみがあり、利用者からの評判も良い。



〔内観〕
ホール及びフロアの柱や床は県産材による構造用集成材で構成され開放感のある明るい印象を与えている。
廊下の床や壁にも、木材を使用した内装材が使用されている。

飯舘村交流センター「ふれ愛館」 (飯舘村)

所在地	飯舘村草野字太子堂17番地	延床面積	1,495m ²
事業主体	飯舘村	木材使用量	109m ³ (0.07m ³ /m ²)
竣工年月	平成28年6月	(うち県産材)	109m ³ (0.07m ³ /m ²)
階数	地上1階	事業費	851百万円
構造	木造	(うち補助金)	339百万円



【外観】

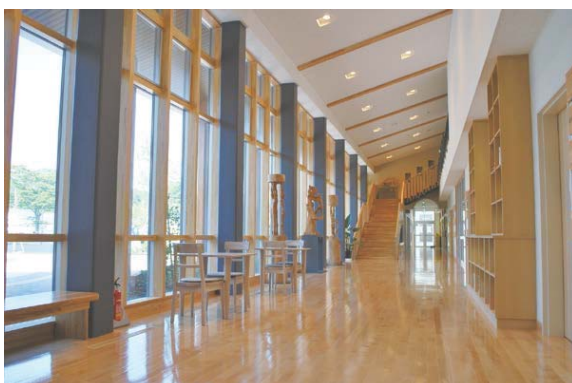
建物には屋内外ともに木材が積極的に使用され、県内の森林資源が活用されている。外観は、村民、県民の憩いの場とした開放的な印象とし、柱梁を現しにすることで緑豊かな飯舘村を象徴させる作り、やすらぎを与える建物となっている。



〔ホール〕

吹抜け大空間を構成する多角形の立体的な梁が象徴的で、六角形のフロアを囲む20本のスギ末口φ20cm丸太柱がその空間を支えている。特に接合部は高耐力のあるグールドインロッド工法が用いられ、接合金物が露出しないなど意匠性にも優れている。また、高い耐力性能があるため、壁を少なくすることも出来、より多くの開口部を設けている。

構造用集成材と造作用集成材ともに、県産材カラマツが使用されている。



〔交流回廊〕

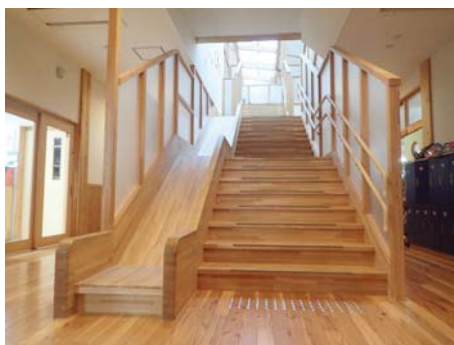
交流の場として利用されるため、壁全面をガラス張りとするのが可能なラーメン構造の設計手法が用いられ、木と明るさによる心安らぐ温かみのある空間となっている。

大倉保育園（いわき市）

所在地	いわき市錦町中迎二丁目5番地1	延床面積	858m ²
事業主体	社会福祉法人誠友会	木材使用量	128m ³ (0.15m ³ /m ²)
竣工年月	平成25年10月	(うち県産材)	48m ³ (0.06m ³ /m ²)
階数	地上2階	事業費	28百万円
構造	木造	(うち補助金)	23百万円



当該施設は、木の温もりを園児に感じてもらい、施設内でも自然に近い形で過ごせるよう木造建築とした。構造だけでなく、床、壁、備品等にできるだけ木材を使用した施設である。また、木造建築物は、鉄筋コンクリート建築より軽量であることから、基礎構造にかかる経費も抑えられることを考慮した。



ホール・階段



多目的ホール



大断面集成材架構



園児室

- 木材の温もりを児童に感じてもらうため、壁、床、備品等に木材を使用した。
- 二階に通じる階段にも、木材を使用し、構造は、大断面集成材架構とし、吹き抜け部分はシンプルな意匠として開放感を重視した。

折戸集会所（いわき市）

所在地	いわき市江名字中作17番地の1	延床面積	100m ²
事業主体	いわき市	木材使用量	25m ³ (0.25m ³ /m ²)
竣工年月	平成26年6月	(うち県産材)	24m ³ (0.24m ³ /m ²)
階数	地上1階	事業費	30百万円
構造	木造	(うち補助金)	30百万円(復興交付金)



地域集会施設は、地域コミュニティの再生・復興には必要不可欠な拠点施設であるが、地域住民自体が被災者であり、経済的にも疲弊しており自力での再建は困難な状況にあることから、復興交付金事業を活用し、津波により全壊した中之作漁民センターの代替施設として、県産材を使用した当該施設を整備しました。



会議室1



木質ペレットストーブ



玄関ホール



会議室2

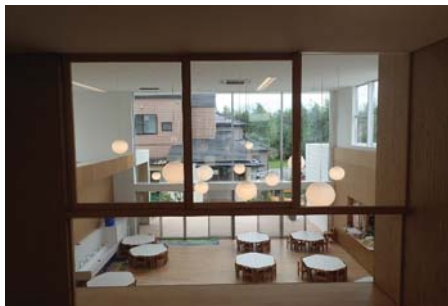
- 利用者に対して木材の良さを伝えるため、床や壁に県産材を使用しました。
- 森林資源の有効活用を図るため、木質ペレットストーブを設置しました。

認定こども園なこそ幼稚園（いわき市）

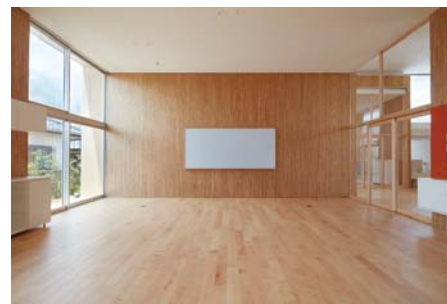
所在地	いわき市勿来町窪田伊賀屋敷58番地2	構造	木造
事業主体	学校法人勿来中野学園	延床面積	1,503m ²
竣工年月	平成29年6月	木材使用量	160m ³ (0.11m ³ /m ²)
階数	地上2階（一部2階）	（うち県産材）	15m ³ (0.01m ³ /m ²)



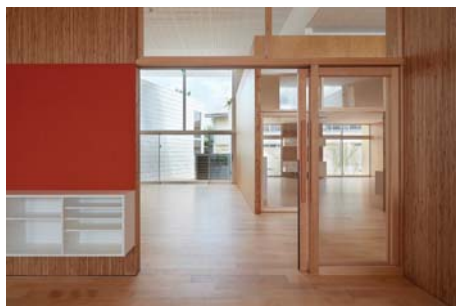
当該施設は、「子ども達が木の中で暮らす」をコンセプトとして木造施設とした。子ども達が窓の外にある緑化木を身近に感じることや施設内を明るくすることに配慮し、開口部を大きくした。また、工期短縮も考慮し、構造躯体はLVL厚板連続壁を採用した。



ホール



遊戯室



木製サッシ



幼稚園裏側

- 木材の良さを感じてもらうため、LVL構造材を現しにし、扉も木製サッシとした。
- 園児が過ごす部屋を開放的な空間とするため、開口部を広くとり、天井も高くした。

公共建築物等の整備に活用可能な補助事業・制度等

(平成 29 年 8 月現在)

【国の支援制度】

- 次世代林業基盤づくり交付金（林野庁）
- サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）（国土交通省）
- 木材利用による業務用施設の断熱性能効果検証事業（環境省）
- 公立学校施設整備費負担金（文部科学省）
- 学校施設環境改善交付金（文部科学省）
- 私立学校施設整備費補助金（文部科学省）
- 認定こども園施設整備交付金（文部科学省）
- 保育所等整備交付金（厚生労働省）
- 次世代育成支援対策施設整備交付金（厚生労働省）
- 地域医療介護総合確保基金（厚生労働省）
- 医療施設等施設整備費補助金（厚生労働省）
- 社会福祉施設等施設整備費補助金（厚生労働省）
- 市町村役場機能緊急保全事業（総務省）

【公的金融機関等の支援制度】

- 中小企業事業・国民生活事業（日本政策金融公庫）
新企業育成貸付、企業活力強化貸付、環境・エネルギー対策貸付、
セーフティネット貸付、普通貸付ほか
- 福祉貸付事業（(独)福祉医療機構）

【県の支援制度】

- 福島県森林環境交付金事業（地域提案重点枠）

公共建築物等の木造化・内装木質化についての御相談は、最寄りの県農林事務所
又は県庁林業振興課へお問い合わせください。

県北農林事務所 森林林業部 林業課	TEL 024-521-2632
県中農林事務所 森林林業部 林業課	TEL 024-935-1367
県南農林事務所 森林林業部 林業課	TEL 0247-33-2123
会津農林事務所 森林林業部 林業課	TEL 0241-24-5734
南会津農林事務所 森林林業部 林業課	TEL 0241-62-5375
相双農林事務所 森林林業部 林業課	TEL 0244-26-4305
富岡林業指導所	TEL 0240-23-6084
いわき農林事務所 森林林業部 林業課	TEL 0246-24-6193
県庁林業振興課（木材利用担当）	TEL 024-521-7432